

清水の子



- ◇学びを広げる子
- ◇思いやりあふれる子
- ◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

第 1 号 令和 6 年 4 月 1 2 日 発行

令和6年度 スタート

校長 井村 友美

4月8日の始業式に続き、9日の入学式で新入生29名を迎え、令和6年度の清水小学校が児童221名、教職員26名でスタートしました。今年度も地域・保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



さて、清水小学校では、学校教育目標「未来を創造する清水の子の育成」のもと、子どもたちの「あたま」「こころ」「からだ」を鍛えることを中心に据えて、「輝く命、世界一明るい学校づくり」目指し、教育活動を推進していきます。今年度は、特に以下のことについて、重点として力を入れて取り組みます。

今年度の重点		
<p>【あたま】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習規律（清水小・開成中「学習の約束」）の徹底 ●主体的・対話的で深い学びのある授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 苫小牧授業改善策の実践 ⇒ 多様な媒体及び方法を用いて表現する活動（自ら考えをもち、学びを活かした表現）の場の設定 ●ICTの効果的な活用 ○家庭学習の手引きの活用 ○読書活動の充実（貸出数 10000 冊） など 	<p>【こころ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体験的な活動や多様な人材等を活用した道徳指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 歩道橋清掃、こころの授業等 ○「いじめ見逃しゼロ」の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ なかよし集会等の児童会の主体的活動 ●異学年交流や縦割活動の場の設定 ●相手を意識したあいさつの重点指導 ○不登校の組織的な対応 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 教頭を核とした当該学級への支援 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【からだ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●体力テストのデータ分析による実態把握と体力向上の取組の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 課題となる項目の向上を意識した授業の改善 ⇒ 日常的な運動機械の場の設定と環境整備 ○発達段階に即した健康教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 性に関する指導等の充実 <p style="text-align: right;">など</p>
<p>【特別支援教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども支援委員会等の充実 ○共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育の充実 ⇒ 組織的・計画的な交流・共同学習の推進 ○一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と支援の工夫 ⇒ 個別的教育支援計画と個別的教育指導計画の作成と活用 など 		
<p>【地域・保護者との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会（コミュニティー・スクール）の推進 ○学校教育エリア会議による小中連携の強化（事務局） ○積極的な情報発信 ○地域教育力の積極的活用 ○学校評価の中間評価による検証改善サイクルの確立 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【働き方改革の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●校務支援システム、学校フォルダ、タブレット等を活用した校務の効率化 ○計画的な会議の運営や学校行事等の見直し ○授業時数を管理した年間計画の作成と年6回のノー会議デーの設定 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【教員の人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常の授業改善を第一とした校内研究の推進（ブロック公開も含めた全教員の計画的な授業公開） ○生徒指導の3機能を活かした指導と学級経営の充実（心理的安定） ○学年主任や部長を中核とした校内組織体制の確立 ⇒ 「報告・連絡・相談」の徹底 ○北海道における教員育成指標の活用したキャリアプランへの指導助言 <p style="text-align: right;">など</p>		

また、昨年度同様、「さくらメール」等を活用し、学校の様子を保護者の皆様、地域の皆様にお知らせしていきます。